

環境モニタリング調査の 分析実施状況確認調査について

資料 2-2

環境モニタリング調査の分析実施状況確認調査について

環境モニタリング調査の品質を確保し、調査結果の信頼性を高めるための取組として、環境モニタリング調査業務に係る分析作業等が適切に実施されているかを確認した。

- 実施日 : 令和4年12月23日（金）
- 参加人数 : 5名（有識者2名）
- 調査項目
 - ・ 書面確認 : 前年度指摘事項への対応状況
外部・内部精度管理及び点検記録
分析事業者における品質確保の取組
 - ・ 実地確認 : 測定用試料・標準物質・試薬の保管状況
分析作業実施状況等

- 講評
 - ・ 全体的に必要な精度管理が実施されており、分析結果の評価もなされていた。
 - ・ 外部精度管理※では、一部の技能試験項目で実際の濃度との乖離が見られたものの、特定廃棄物埋立処分施設に係るモニタリングには影響がない事象であることを確認した。（乖離については原因究明の後、分析手法の改善を行った。）
 - ・ 品質責任者が定期的に手順書どおりに作業が行われているかを直接確認する取組が行われていた。理想的な作業手順を確認・共有しながら、取組を継続していただきたい。



書面確認実施状況



実地確認実施状況

※分析機関が自主的に行う分析精度管理の取組み。外部の運営機関が共通試料を全国の分析機関に送付し、その分析結果を集計・解析する。個々の分析機関ではその結果を踏まえ、技術水準や分析精度を評価する。